

自衛隊のあるまち

陸上自衛隊行進訓練

7月14日(月)平成21年に移駐予定の陸上自衛隊第50普通科連隊が、住民に隊員の姿と自衛隊への理解を深めてもらおうと、野市青少年センターから香美市鏡野公園を經由し、香我美市民館までの約22kmを歩きました。この訓練は中隊ごとに行われ、今回は香南市を含む高知県中央部を担当する第3中隊、約70人が20kgの装備を担ぎ、香南の地を力強い足取りで進みました。行進後は、市長が特産のハウスミかんなどを隊員に手渡し、訓練をねぎらいました。



シカの被害ってすごいなあ

野市小「さおりが原」たんけん隊



7月12日(土)野市小学校3年生以上の12人が、シカの食害がひどいと言われる香美市の物部川源流域「さおりが原」へ行きました。「どんな発見ができるかな?」とシカの増殖が森林に与えている被害を観察すると、足元は土砂がむき出しになり歩きにくいことや、実際、森を見ると木がたくさんかじられていることに気が付きました。参加者は「山の自然が荒れないよう、ステキな山にせないかん」とみんなで話し合いました。

子育てに“10秒の愛”

部落差別を無くする運動強調旬間事業

7月10日(木)のいちふれあいセンターで「部落差別を無くする運動」強調旬間事業が開催され、約360人が参加しました。香我美小6年の武田悠希さんが、人権作文の主題「幸せの向こう側」で「貧困に苦しむ国で5歳の子どもが『命』のため働く姿を見て、自分たちの学校給食の残べ残しに気付き、身の回りの環境問題にも関心を持つようになった」と発表しました。また、講師の仲島正教さんは「子どもは親にほめられることで人に優しくなれる」と呼びかけました。



地域が一つになって

社会を明るくする運動



7月3日(木)社会を明るくする運動強調月間」と「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」に合わせ街頭パレードが行われました。香南保護区保護司会など約80人の参加者らは、本庁前で出発式を行いました。その後、広報車を先頭に「子どもたちの健全育成のため、明るい社会を作りましょう」と呼びかけながらフジグラン野市店までパレード。駐車場で買い物客らに「社会を明るく」と書かれたうちわなどを配布して啓発しました。

川や海からきれいな環境を！

河川一斉清掃 吉川漁港海岸清掃

7月13日(日)市内の河川をきれいにしようといわれた「河川一斉清掃」に約300人が参加し、1トン余りのゴミが回収されました。香宗川では地域住民のほか、地元の陸上自衛隊や中学生も清掃に参加しました。中学生からは「ビールの空き缶やたばこの吸い殻など大人の捨てるゴミが多い。どうにかならんろうか」との声が聞かれ、大人が手本となるようなマナーの向上が求められていました。



また、同日吉川漁港で開催された「吉川漁港海岸ごみ拾い」には市内外から221人が参加しました。海岸は堤防から投げ込まれたゴミも多く、缶やペットボトルなど約300kgも集まり、課題を残しました。清掃後はシカ肉を使ったカレーを試食し「くさみも気にならず柔らかい」という感想が聞かれました。



絶景にみんな大満足！

夜須中学校梶ヶ森登山

7月11日(金)今年で35回目となる梶ヶ森登山に総勢120人が参加し、山頂を目指しました。昨年から日帰り登山となり、炎暑の中、片道約6.7kmの険しい山道を、助け合いながら登りました。中間地点となる「竜王の滝」では、汗まみれになった男子生徒が滝つぼに飛び込む姿も。3年ぶりとなる登頂成功に生徒らは、見晴らしの良い景色に歓声を上げ、「気持ち良かった!」と疲れもどこかへ吹き飛んだ様子で、満足そうに山頂の空気を味わっていました。



香南市にニュースポット完成！

香南地域情報センター落成・海開き



7月5日(土)ヤ・シィパーク内の「やすらぎ市」西隣に「地域情報センター」が完成し、もち投げが行われました。この情報センターは香南市をPRする拠点として、市内の観光パンフレットなどが置かれているほか、巨大モニターで市内の観光情報を紹介しています。2階には大型バスの観光客も受け入れられる広いレストランもオープンし、今後の集客が期待されます。同日、海神祭も行われ、小雨が降る中、早速、海に繰り出す親子の姿が見られました。